

平成29年7月九州北部豪雨における水資源機構の被災地支援活動について

水資源機構では、7月5日（水）からの九州北部における梅雨前線に由来する洪水被害について、自治体からの支援要請があったことから、福岡県朝倉市、東峰村にリエゾン（災害対策現地情報連絡員）を派遣し、被災地の支援を行っています。

支援の一環として、朝倉市などからの要請により、水資源機構はドローンによる被災状況調査などの被災地支援活動を行っています。

長良川河口堰管理所からも、災害支援員1名を派遣（7月14日～20日）し、被災地状況調査等の支援活動を行っています。



ドローンによる寺内ダム（福岡県朝倉市）の流木捕捉状況調査 写真



ドローンによる林道被災状況調査（福岡県朝倉市内） 写真



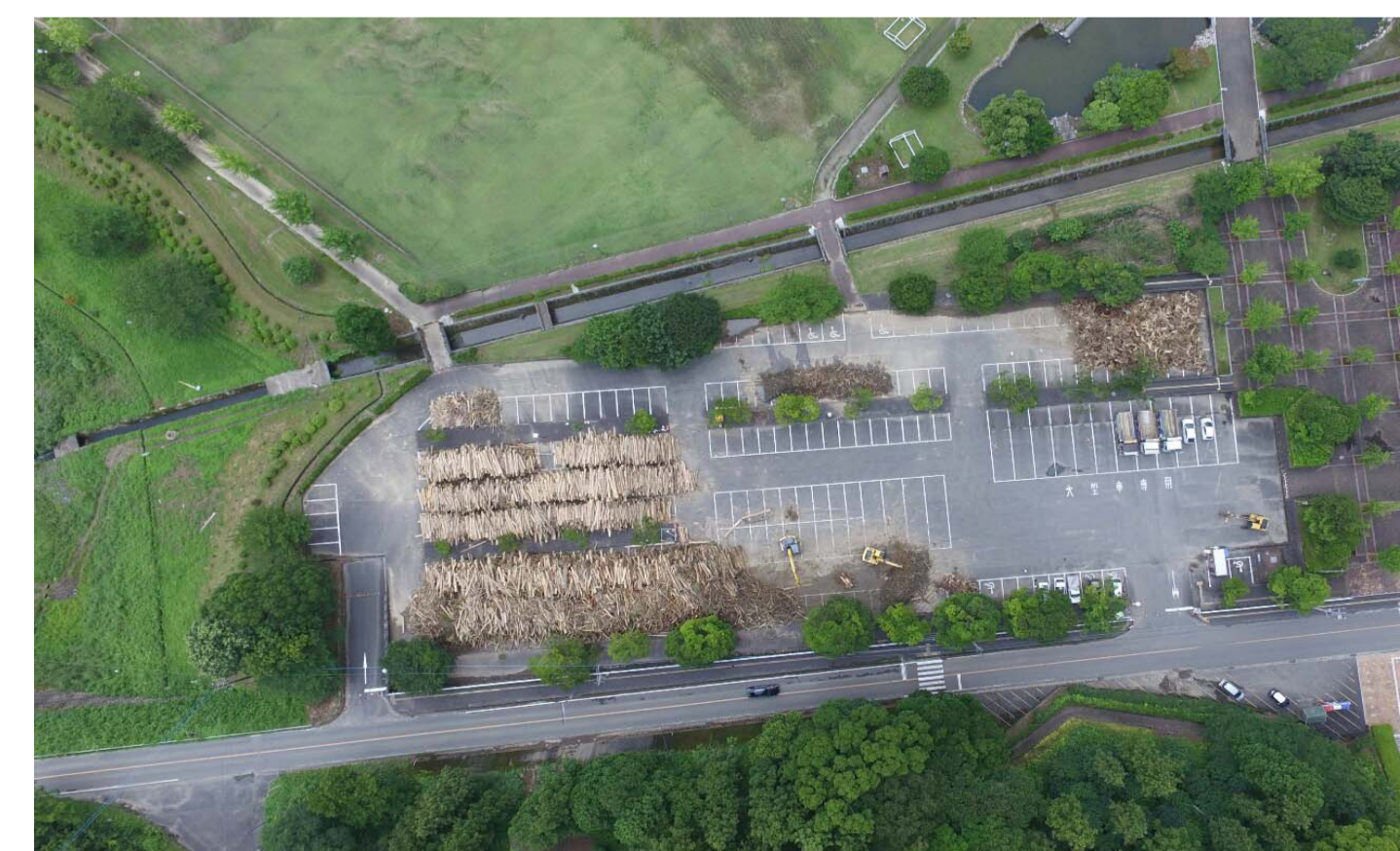
朝倉市役所朝倉支所での打ち合わせ



ドローンによる被災状況調査 状況



ドローンによる被災状況調査 状況



ドローンによる流木受け入れ地状況調査（福岡県朝倉市内）写真

長良河口堰管理所より、災害支援員として福岡県朝倉市内の被災地にて、支援活動を実施しました。主な活動内容は、危険で人が近づくことが出来ない被災現場をドローン撮影することです。朝倉市の林道においては多数の崩落が発生しており、災害規模の大きさを目のあたりにしました。本支援活動が被災地復興の一助となればと思います。

環境課 森

※独立行政法人水資源機構における「九州北部における豪雨対応状況」詳細は、[本社ホームページをご覧ください。](http://www.water.go.jp/honsya/honsya/suigen/saigai/kyusyubousai.html)
<http://www.water.go.jp/honsya/honsya/suigen/saigai/kyusyubousai.html>